

分担金・拠出金の名称	国際貿易センター(ITC)拠出金	平成28年度 予算額	5,552千円	総合 評価	B
拠出先の国際機関名	国際貿易センター(ITC)				
国際機関の概要	<p>・1964年5月、開発途上国の輸出振興策の技術的援助を行う目的で、「GATT貿易センター」として発足。</p> <p>・1995年、世界貿易機関(WTO)の発足後に「国際貿易センター(International Trade Centre)」に名称変更、WTO及びUNCTADの2国際機関の下に設立され、貿易のための援助(AFT)に特化した唯一の国際機関。</p> <p>・本部はジュネーブ、約280名の職員を有し、114ヶ国において、139のプロジェクトを実施(2015年)している。</p>				
評価基準	達成状況				
1. 当該機関等の専門分野における影響力・貢献	<p>開発途上国の輸出振興のための技術的援助を行う目的で、WTO及びUNCTADの下に設立された国際貿易センター(ITC)は、貿易のための援助(AFT)の実施に特化した唯一の援助実施機関であり、途上国の輸出産業振興支援の分野で大きな実績を有している。主に、輸出振興に不可欠な民間セクター育成のための案件実施に精通しており、アフリカ地域での経験も豊富であることから、途上国やその他の国際機関からも高い評価を受けている。2015年は114の国または地域(前年度比18%増)において、その国の政策立案機関・行政執行機関・民間企業を対象に139の貿易能力向上支援プログラム(前年度比28%増)を実施中であり、途上国の輸出能力の向上等において実績を上げている。</p>				
2. 我が国重要外交課題遂行における当該機関等の有用性(意思決定における我が国のプレゼンスを含む)	<p>・ITCは、途上国の輸出環境整備、貿易のための民間セクター支援を実施しており、日本企業の途上国進出促進や途上国企業との貿易振興にも裨益。特に、女性の貿易参画支援に注力しており、製造業への女性の就労支援や能力強化から、女性の企業家育成支援、女性企業家の貿易参画支援を重点的に実施(エシカルファッションイニシアティブ、SheTrade等女性関連プロジェクト)に力を入れています。途上国の女性が貿易を通じた国際市場への参画を促進することで、経済的自立機会の飛躍的拡大が期待されており、我が国が重視している女性の経済参画の強化にも資するものである。その中で我が国は、ITCから提出された事業計画案を、精査し、修正を含めた承認判断をすることで、意思決定プロセスに関わっている。</p> <p>・我が国が拠出している「エシカルファッションプロジェクト」では、日本のアパレルメーカーであるユナイテッド・アローズと提携し、服飾類の販売を実施。2015年5月には伊勢丹にてエシカル・ファッション関連イベントを開催しており、また不定期ではあるが新宿伊勢丹において商品販売を実施し好評を得ている。水準の高い市場調査及びプロモーションを通じ、我が国において着実に商品販路を拡大しており、日本のアパレルメーカーにおいても、市場価値の高い商品を開発出来るというメリットがあり、日本経済にも貢献している。また、本プロジェクトは我が国イニシアティブであるアフリカ開発会議(TICAD)にも積極的に参加しており、ITCにおける我が国のプレゼンスがいかされている。</p>				
3. 当該機関等の組織・財政マネジメント	<p>・当該機関の組織・財政マネジメントに対しては、出資元であるWTO、UNCTADにより管理されており、年1回開催の諮問委員会(JAG)、年2回開催の信託基金協議委員会(CCITF)、及びドナーと幹部の非公式な意見交換を不定期に開催し、報告及び評価を実施している。</p> <p>・また、少数の出席者(ドナー20名ほど)と幹部(ED)が直接に対話をする機会が頻繁にあり、我が国の意見も幹部に届きやすく、透明性の高い組織である。</p> <p>・2014年～2015年にかけては国連の内部監査部による外部評価を受けており、同評価に対する対応を公表し、CCITF等で進捗をフォローアップするなど、外部評価に真摯で、積極的に組織改善を実施している。</p> <p>・会計手法についても、国際公会計基準(IPSAS)への移行を行うなど、改善に努力している。</p>				
4. 当該機関等における邦人職員の状況	<p>約280名職員がいる中、2013年迄日本人職員は1名のみであったが、2014年から、JPOの採用で1名増員、計2名となっている。購買力の大きい日本市場におけるパートナー発掘、JICA、JETRO等の機構、小売、商社等販売網との戦略パートナー関係構築、協業拡大が求められるところ、我が国との連携強化をねらい、同JPOを日本関係窓口(TICAD連携等)とし、アフリカへの投資促進のためのプロジェクトを複数任せるなど、邦人職員を効果的に活用。</p>				
5. 我が国拠出の執行管理、PDCAサイクルの確保	<p>①計画段階(Plan):ITCからの要求、予算計画、使途予定を入手、我が国の関連政策(国際協力大綱、TICADでの決議事項等)に照らしつつ、予算要求。②実施段階(Do):ITCのJAG(年に1度の総会)ハイレベルを含む不定期の協議を通じて、ITCの活動をモニタリング。③評価段階(Check):ITCによる内部評価報告書、国連会計監査委員会による外部監査報告書により成果を評価。④フォローアップ(Act):ITCの総会、ハイレベルな会合における対話の機会を通じ、必要に応じて改善を提言。</p>				
担当課・室名	経済局国際貿易課				